

議会だより

第137号

平成30年
5月10日発行

東くしら

発行 鹿児島県東串良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



海の恵みに感謝♥
地元愛あふれる鮮魚店

関連記事 P.20

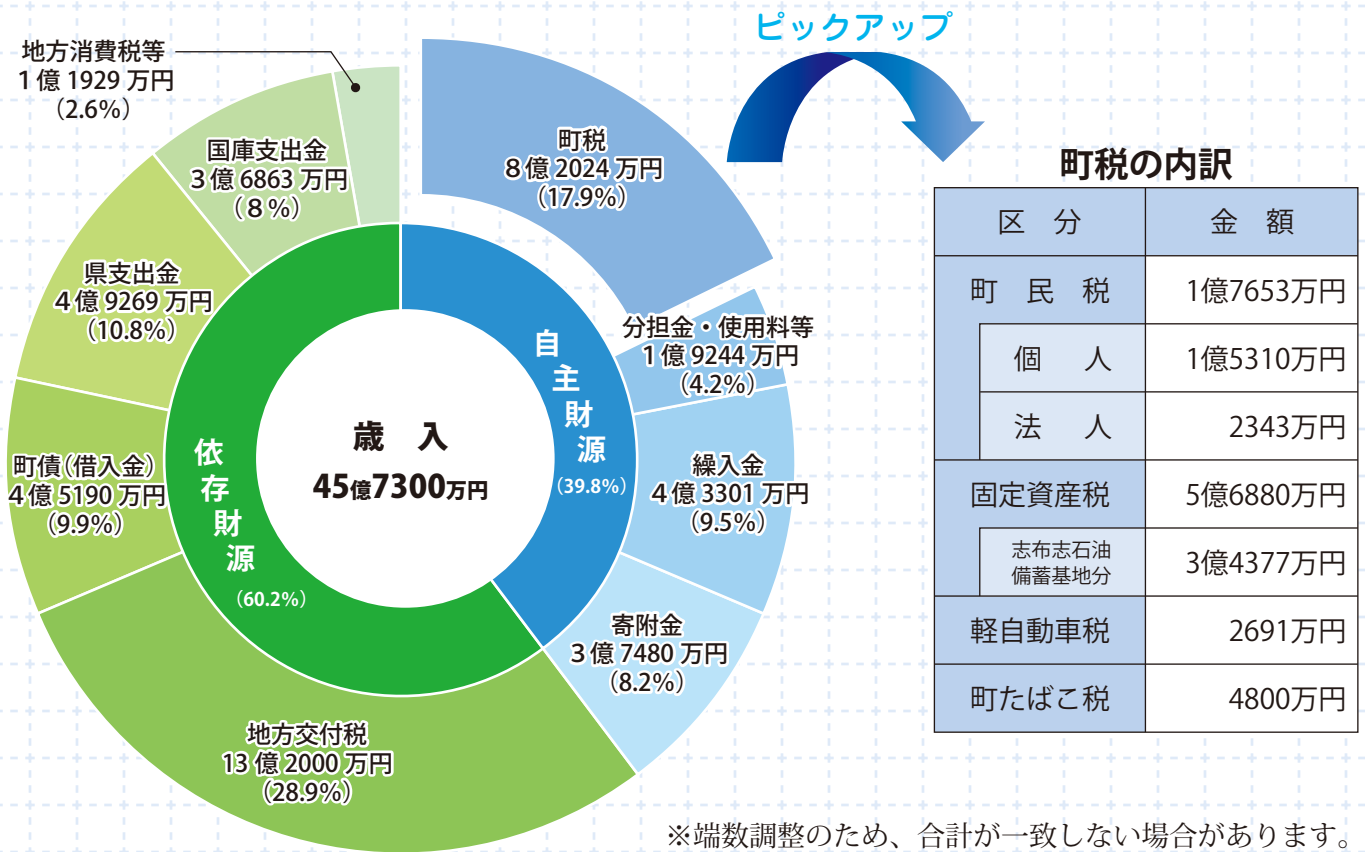
新年度予算 活力ある町政を推進・・・2
一般質問「防災対策等」・・・8
クイズ・・・19

活力ある町政を推進

平成30年第1回定例会は、3月9日から3月23日までの15日間の会期で開きました。今定例会では、当初予算6件、補正予算6件、単行議案7件等を審議しました。(議案等に対する議員の賛否状況はP.6に掲載)

また、一般質問には6人の議員が登壇し、執行部に質問を行いました。(関連記事P.8~P.14)

一般会計当初予算は45億7300万円(対前年度比1.4%増)です。主な施策は、「観光地の整備」、「防災対策の整備」、「農業生産対策の支援」、「子育て支援」等であり、本会議における採決では、全会一致で一般会計当初予算を原案可決しました。平成30年度予算のあらましについては、次のとおりです。



歳入増減の要因 Part 1 (自主財源)

★町民税：個人町民税は、農所得の増額が見込まれるため、対前年度比で300万円増額となっています。

★固定資産税：資源エネルギー庁関係交付金が対前年度比で、約4053万円減額となっています。これは、交付金の基礎となる志布志石油備蓄基地の評価替え及び償却資産等の経年によるものです。3年前からすると1億円程度減額になっています。今後も減額の一途をたどるのか危惧されます。

一方では、太陽光発電の償却資産が増えたことにより、対前年度比で、約833万円増額となっています。

★分担金及び負担金：児童福祉費負担金(保育料の利用者負担金)の見直しにより、対前年度比で、約840万円の減額となっています。

★寄附金：ふるさと納税寄附金が対前年度比で、1億180万円増額となっています。

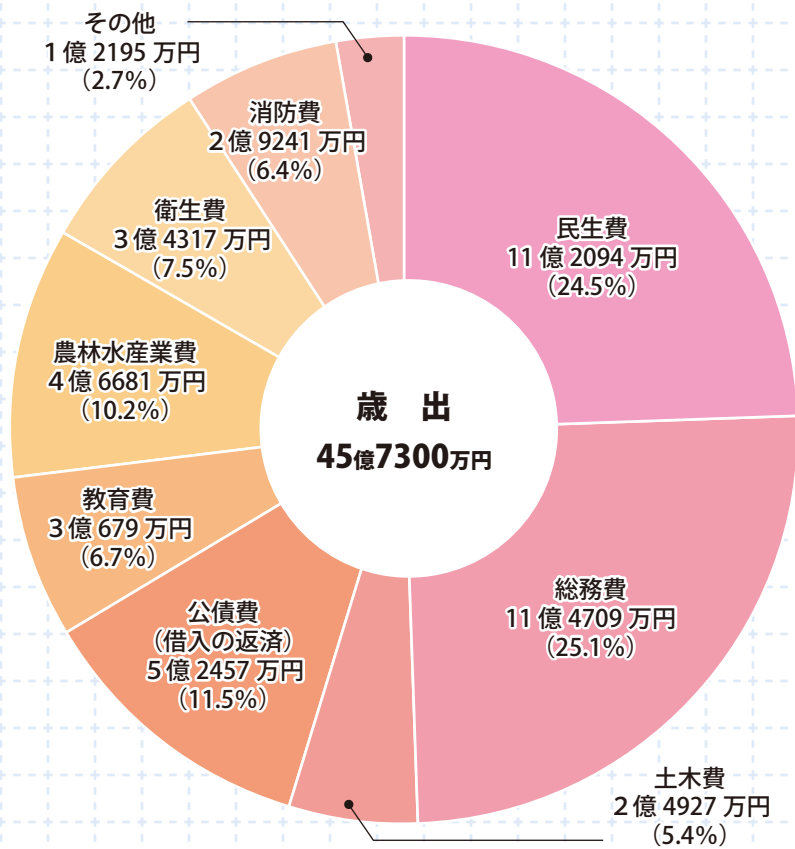
財源確保に努め



30年度特別会計当初予算額

(単位:千円以下切り捨て)

国民健康保険会計	10億8868万円
介護保険会計(保険事業勘定)	9億6100万円
介護保険会計(サービス事業勘定)	415万円
後期高齢者医療会計	9656万円
簡易水道事業会計	2億3864万円



当初予算の主な使いみちは、次のページです。

★県支出金：対前年度比で、約4308万円増額となっています。主な理由は、児童福祉費負担金の改正による増額と海岸漂着物等地域対策推進事業費補助金(柏原海岸の清掃関係)の増額、活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金(農業関係)の増額によるものです。

★国庫支出金：対前年度比で、約3696万円増額となっています。主な理由は、児童福祉費負担金(保育料関係)の改正による増額と経営体育成支援事業補助金(農業関係)の増額によるものです。

★町債(町の借入金)：過疎対策事業債が対前年度比で8440万円増額、臨時財政対策債が対前年度比で300万円増額、緊急防災・減災事業債が対前年度比で9650万円減額となり、全体で910万円の減額となっています。

歳入増減の要因 part 2
(依存財源)

防災・減災の対策



- 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（11月に大規模地震を想定した合同訓練を本町で開催）
560万円
- 消防自動車の購入（柏原分団のタンク車を更新）
4400万円
- FRP 防火水槽を設置
1980万円

観光地の整備



- 円山公園整備事業（遊具を設置）
1460万円
- ふれあいの森キャンプ場の下刈り及び雑木の除去
220万円
- ふれあいの森キャンプ場管理棟補修事業
80万円
- ビーチクリーナー購入事業
234万円
- 相撲連盟への補助金（落成式及び柏原大相撲の運営）
400万円

3月定例会では、新年度予算の提案にあわせて、町長の施政方針があります。町政の舵取り役として3年目を迎えた宮原町長は、「本町の諸課題に積極的に取り組み、収支の均衡を保ち、『東串良に住んで良かった』と思われるよう各施策を進めます。」と本会議で宣言されました。

新年度予算の主な使いみちは次のとおりです。

新年度予算の使いみち 笑顔あふれるまちづくり

高齢者福祉



- 敬老年金給付
1303万円
- 高齢者訪問給食
1600万円
- 寝たきり老人オムツ給付事業
187万円
- 老人クラブ補助金
315万円
- 成人用肺炎球菌予防接種
138万円
- 老人ホーム措置費
8000万円

農業の振興



- 産地パワーアップ事業
2238万円
- 農業次世代人材投資資金（新規就農者に年間150万円交付）
1875万円
- 経営体育成支援
2342万円
- 農業生産対策事業（農業用機械等導入への補助）
2000万円
- 肉用牛パドック牛舎設置事業
100万円

子育て支援



- 乳幼児・子ども医療費助成事業
2000万円
- 赤ちゃんすこやか支援事業
300万円
- 児童手当支給事業
1億807万円
- 学校給食費助成
1250万円
- 奨学資金貸付事業（町内居住等の要件で返還金の一部免除あり）
846万円

町道路線の変更を可決

災害時避難場所である柏原小学校へのアクセス道路を整備するために、町道「柏原小学校東門線」の終点の変更を決めました。

このことにより、今まで里道だったところが町道に認定され、拡幅工事を行い車両が通行できるようになります。工事費も新年度予算に計上してあります。



▲行き止まりになっている「柏原小学校東門線」（写真右側は柏原小学校）



▲小学校の正門までは、人が通れるだけの里道となっている



▲町有地（学校側の土地）を活用して道路の拡幅工事を計画



▲町道「柏原小学校東門線」の終点を小学校の正門付近に変更することについて、現地調査をする教育産業常任委員会

平成30年4月1日から「農林水産課」

町民及び関係機関等に何の業務をするのか、分かりやすくするために、「**経済課**」の名称を改め「**農林水産課**」とする条例を決めました。

農林水産課の業務内容には変更はありません。従来通りに次の係があります。

- 農林水産係
- 農政企画係
- 畜産係

東串良町介護保険条例を改正

介護保険事業計画の見直しに伴い平成30年度から平成32年度までの保険料率が改定されました。

介護保険料は、所得段階別（9段階）に保険料が定められています。

例えば、第5段階の対象者は、「本人が住民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超」の方です。保険料率が基準額となり、今回の改定で年間では3600円、月額では300円、保険料が上がります。

東串良町公営住宅条例を改正

公営住宅法が改正されたことに伴い、認知症患者等が住居入居者である場合における収入申告義務が緩和されることになりました。

東串良物産館（ルピノンの里）の指定管理者が決まる

公募によらない方法で、指定管理者を従前のおり決めました。期間は3年間で委託料は年間190万円です。

【指定管理者】

■住所

東串良町池之原

260811

■名称及び代表者

一般社団法人

東串良物産館出荷協議会

理事長 村山 博隆

【指定期間】

平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで

3月議会

議案等に対する 議員の賛否状況

採決とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

表決とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

議案等の 番号	件 名	賛否の意思表示										議決結果	
		児 玉	瀬 戸 山	牧 原	西 園	泊 田	前 園	上 園	原 田	宮 地	田 之 畑		
議案第 1 号	行政組織の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第 2 号	東串良町公営住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第 3 号	字の区域変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
議案第 4 号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
議案第 5 号	東串良町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決	
議案第 6 号	東串良町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
議案第 7 号	東串良物産館（ルピノンの里）の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決	
議案第 8 号	平成 2 9 年度東串良町一般会計補正予算（第 8 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
3 月 議 会	議案第 9 号	平成 2 9 年度東串良町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 10 号	平成 2 9 年度東串良町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 11 号	平成 2 9 年度東串良町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 12 号	平成 2 9 年度東串良町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 4 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 13 号	平成 2 9 年度東串良町簡易水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 14 号	平成 3 0 年度東串良町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 15 号	平成 3 0 年度東串良町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決	
	議案第 16 号	平成 3 0 年度東串良町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決	
	議案第 17 号	平成 3 0 年度東串良町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 18 号	平成 3 0 年度東串良町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第 19 号	平成 3 0 年度東串良町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	

(備考：○…出席 ×…欠席 △…同日複数会議で1会議に出席 遅…遅刻 早…早退 他…他の公務 ……該当なし)

日付	会議・行事等	児玉 勇治	瀬戸山 謙一	牧原 完治	西園 貞美	迫 重巳	前田 隆	上園 ミキ	原田 猛	宮地 利雄	田之畑 稔
2/2	全員協議会、広報編集委員会	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
2/13	第5回明光園杯グラウンド・ゴルフ大会	○	—	—	—	○	○	○	—	—	○
2/16	大隅肝属地区消防組合議会、大隅肝属広域事務組合議会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	—
2/17	町生涯学習推進大会、ルーピン少年の主張発表大会	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○
2/19	教育産業常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○
2/19	特別委員会（地方創生、防災・減災）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/6	議会運営協議会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/6	東串良町男女共同参画講演会	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○
3/9	第1回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/13	中学校卒業式	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
3/13	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/14	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/15	日本版DMOフォーラム「おおすすめ観光に未来を創る会」	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○
3/16	第1回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/19	総務民生常任委員会、教育産業常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3/20	全員協議会、特別委員会（地方創生）	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
3/22	小学校卒業式	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
3/22	教育産業常任委員会	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○
3/22	町校長会・教頭会・教育委員会等合同送別会	—	—	○	—	—	○	○	○	—	○
3/23	第1回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/1	ルーピン祭り	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○
4/3	全員協議会、広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/6	小学校入学式、中学校入学式	○	△	△	○	○	×	○	×	△	○
4/8	ルーピンの里桜祭り	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○
4/13	転任教職員歓迎会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
4/15～17	地方創生特別委員会調査	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
4/18	第44回グラウンド・ゴルフ大会	○	×	—	○	○	—	—	×	—	○
4/20	全員協議会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
4/28	知事と語ろう車座対話（意見交換会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/28	柏原大相撲前夜懇親祝賀会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
4/29	柏原大相撲	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

* 議長の公務一覧 *

日付	用務	場所	備考
2/6	学校給食共同調理場運営委員会	東串良町役場	
2/20～21	県議長会及び郡議長会定期総会	ホテルウェルビューかごしま	
2/23	町畜産振興会設立50周年記念大会	東串良町役場	教育産業委員長も出席
3/1	井手神社式典	井手神社境内	
4/9	池之原幼稚園入園式	池之原幼稚園	
4/24	東串良町奨学生選考委員会	東串良町役場	
4/25	東串良町春季畜産共進会	町畜産センター	教育産業委員長も出席
4/26	県政説明会	鹿児島県庁	



一般質問

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっています。

児玉 勇治 (9ページ)

- 防災対策
- 引き渡し訓練

泊 重巳 (10ページ)

- H30年度の最重点政策は何か
- いじめ・不登校の状況

瀬戸山 譲一 (11ページ)

- エネルギーの自立と産官学連携
- 政策提案のキャッチボール

西園 貞美 (12ページ)

- 定住促進貸付用地の現況と対策
- ふるさと納税

宮地 利雄 (13ページ)

- 定住促進事業の町内向け特別枠
- 就学援助金の入学時の支給日
- 学校へのクーラー設置

牧原 完治 (14ページ)

- 農業生産対策の支援
- ふるさと納税の推進

会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。

- ☆役場1階ロビー本棚
 - ☆福祉センター
 - ☆総合センター
- ・・・是非、ご覧ください。



【東串良町HP】

町政を問う

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報編集委員会が編集したものです。



災害時の非常食等の確保は



役場庁舎には約700食備蓄



児玉 勇治 議員

児玉 災害が発生した時、

本町に災害時用備品と非常食等がどの場所に、どのくらい保有されているか。

町長 役場庁舎防災倉庫を拠点とし、ここには防災資機材や非常食を約700食備蓄している。

下伊倉津波避難タワーには非常食を約70食、池之原小学校・柏原小学校には資機材を配置し、非常食は役場防災倉庫からの供給となる。

児玉 備蓄量は最低でも3日分が必要である。池之原小学校と柏原小学校に再度、災害時用物品及び非常食等の保有の見直しを検討する考えはないか。

町長 できれば1週間分を目安に備蓄を行い、非常食の確保も年次的に行いたい。



平成30年3月に完成した防災センター(安留地区)

児玉 安留の防災センターが開所されたが、どのような災害用の備品や非常食等を設置するのか。

町長 毛布や給湯室、シャワー設備、炊き出し用品、非常食約100食、飲料水2リットルペットボトル6本入りや150ケース、救助資機材や投光器、発電機、救助用ボートを整備する。

また、人員や資機材の搬送車を配備する。

児玉 津波想定 overnight 訓練が初めて実施され、柏原地区では町配布の非常持ち出し袋

の活用が数名という反省点があったと思う。次回の訓練では反省を生かし、行政と自主防災組織が一体となり一人の犠牲者も出さない避難と、避難した際はストレスのない最低限の避難所生活ができる体制を強く要望する。

Q 緊急時の対応として、児童・生徒の引き渡し訓練は

A 各学校、幼稚園で避難訓練や引き渡し訓練を実施

児玉 児童・生徒が在校中に地震、津波等の自然災害や、火災、不審者の侵入等の事件を伴う事案が発生した時、保護者を含めた引き渡し訓練の防災教育の状況や保護者への連絡方法はどうしているか。

教育長 避難訓練等は、各学校において年4回実施し、3校合同での実施が2回である。6月に引き渡し訓練、11月に地震・津波に対する訓練を実施。ショート訓練も合わせ合計3校で11回実施している。

引き渡し訓練は、各学校と幼稚園での避難訓練を終えた後、保護者に引き渡す形で訓練している。幼稚園と3校合同のため保護者へ引き渡す時間は最初に幼稚園、次に小学校、最後に中学校へ行けるように、引き渡す時間を少しずつ実施している。

また、保護者への連絡方法は、文書と当日の安心メールで再度連絡している。安心メール登録をしていない家庭は、電話で連絡している。

児玉 学校の実態や新たな安全上の課題に即した実効性の高い避難訓練の実施が要求されると思う。最悪の場合を想定し、その場で何が一番安全で適切なのかを臨機応変に対応できる訓練を積み重ねていく事を強く希望する。

Q 30年度の最重点政策は何か

A 観光地の整備や子育て支援など進めたい



泊 重巳 議員

泊 平成30年度は町長の主な施策として、観光地の整備、防災施設の整備、農業生産対策の支援、子育て支援を掲げている。最重点政策は具体的に何を考えているか。

町長 観光地の整備は昨年度に引き続き、円山公園の遊具設置、そして新たな事業として、ふれあいの森のキャンプ場管理棟の補修を計画している。景観維持のため、柏原海岸沿いの松林の雑木除去を引き続き行いつつ、新たに海岸漂着物の撤去やビーチクリーナーの導入による砂浜の整備もあわせて行う予定である。また、昨年度完成した相撲場の落成式及び柏原大相撲に対して助成を行う。防災施設の整備は、年次的に防火水槽の設置及び消防車

の購入、FRP防火水槽3基の設置を予定している。

農業生産対策の支援として、国庫補助事業や県単補助事業等を継続して取り組むとともに、町単独補助事業として農業生産対策事業について2000万円を予算計上し、天敵導入や機械等に対する助成を行う計画である。

子育て支援は、給食費の補助を継続するとともに、小中学校や幼稚園の施設における老朽化に伴う補修等を計画し、児童生徒の教育環境の整備を行う。

また、乳幼児子ども医療費助成を高校卒業まで行うことを維持する計画である。

泊 平成30年度の大きな課題として、小中学校へのエアコン設置ではないかと思う。大崎町が本年度に全小中学校の普通教室にエアコンを環境省の地方公共団体、カーボンマネジメント強化事業の補助率3分の2を活用し設置する計画である。

本町では本年度にエアコン設置の計画はないか。

総務課長 エアコンをつけ

るという前提で国庫補助事業を使う関係から今申請中で、交付決定等があったときは速やかに事業を執行したい。

Q 5年後の和牛能力共進会に向けての町の施策は

A 優良雌牛導入保留補助を引き続き実施する

泊 全国和牛能力共進会が5年後は鹿児島県で開催される。日本一になるには、県、農協、町、農家が一体とならなければ不可能である。町としてどのような施策を考えているか。

町長 2022年に霧島市で第12回全国和牛能力共進会が開催される。県は、平成29年度より共進会への出品対策事業として、優良牛の導入保留に對し1頭当たり5万円の補助を交付することにしており、本町では5頭が対象となる。

本町でもJAと協力し、町優良家畜保留事業による優良雌牛導入保留補助を1頭当たり10万円引き続き実施する。

Q 学校におけるいじめの状況は

A 3件の報告があったが、いずれも解消されている

泊 県教育委員会の公立学校の児童生徒問題行動調査では、小中高校全体では、いじめ・不登校は減っているが、小学校は増えている。

本町の小学校、中学校のいじめ・不登校の状況はどうか。
教育長 いじめは今現在で、報告があったのは、本年度3件ということで、いずれもその問題、そのものは解消されていると捉えている。

不登校は小学校が4名、中学校が3名である。電話連絡、家庭訪問の形で保護者との連携をとり、子供の状況に応じて対応している。

泊 いじめの調査はどのような方法でしているか。

教育長 各学校において、年4回から5回無記名等アンケートを実施している。

また、児童生徒の個別の教育相談を年3回から4回実施して対応している。



三面水路に水車型発電機設置の考えは



水路に落差がないため難しい



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山

稲作・飼料作物の水利費を安く上げること、停電時の非常時に対応できない今のパイプラインを、三面水路に水車型発電機を設置し起電した電力でこの2点を解決できないかと考えるが、町長の見解は。

町長

三面水路の水車型発電機設置については、現在、揚水機場のポンプ運転等に必要電力を水車型発電機で補うためには、概算で林田土地改良区が国から許可をもらっている許可水量の最大で50倍を超える水量が必要となる。

また、地形的にも水路に落差がないことから発電機設置は現実的には厳しい条件である。

東日本大震災以降注視されている再生可能エネルギー導



水流を活用した発電はできないか(三面水路と揚水機場)

町長 今のところ予定はない。

Q 議会の政策提案に対する取り扱い

A 見習うべき事業など参考とする

瀬戸山 議会は調査、研修

を行ったとき、その概要や参考となる点など踏まえて町への政策提言などをまとめたレポートを作成している。

このレポートについては執行部にも提出しているが、読んでもらっているか。

町長

一応、読んでいます。

瀬戸山

議会で執行部においては、こうした政策提案に関する活発な意見交換、議論のキャッチボールが必要だと思いが、どのように考えるか。

町長 意見交換や議論のキャッチボールであるが、当然に活発でなければならぬ。執行部においても、私に限らず、職員についてもそれぞれの職務の中で研修等に参加して得た知識の中から、取捨選択し立案を行っている。

議会と執行部と立場は違いますが、町民の皆様のために力を尽くすということは同じである。議会からいただいたレポートや調査報告書の中で見習うべき事業などがあれば、当然のことながら参考にさせていただきます。

瀬戸山

これまで議会と執行部がこうした政策提言に関する議論する場が設けられていない。

今後においては、議会と執行部が議論熱く語れる種々の場を設けていただくことを要請する。

Q 第5次定住促進用地の貸付は

A 46区画中11区画が契約済み



西園 貞美 議員



定住促進貸付用地(池之原地区)

西園 第5次定住促進貸付用地について、46区画のうち、今貸し付けが何区画終わっているのか。

町長 平成30年3月15日現在、46区画中11区画が契約済みとなっている。

西園 今11区画が貸し付け済みであるということだが、思うように貸し付けが進んでいないと思うが、原因は何か。

町長 原因については探していない。3年を一応めんどして考えており、今年が過ぎたところである。

西園 貸し付けをする努力、宣伝はどのような方法で行ったか。

町長 資料請求、契約等に関する具体的な相談も定期的な受け付けており、パンフレットも配布している。

西園 1年目、2年目は、もう少し頑張り宣伝な努力をしていただきたい。

柏原地区の定住貸付事業はどのような感じか。

町長 第5次定住促進貸付事業が終わった時点で柏原地区を考えていきたい。

西園 柏原地区も非常に人口が少なくなっている。ぜひとも取り組んでいただきたい。

Q ふるさと納税を増やす努力を

A 皆様からいただく真心であり、簡単には集まらない

西園 平成29年度のふるさと納税の収納額はいくらか。

町長 約3億6000万円を見込んでいます。

西園 29年度の目標は6億円であった。今回、1億5000万円減額修正している。

4億5000万円ではなく、3億6000万円なのか。

町長 ふるさと納税は、皆様からいただく真心である。そう簡単には集まるものじゃない。

西園 隣の町では、10億円、20億円集めている。どこの町も条件は一緒である。もう少し前向きに攻めないと。

目標を達成できなかった原因は何か。

町長 9月までは、対前年比で2倍から4倍伸びていた。

西園 倍数じゃない、金額である。ふるさと納税額の多い町に職員を勉強に行かせ、まずまねをしたらいいのではないか。今年も大崎町は23億

円、志布志市は30億円集めている。町長は、何かするたびに財源のことを言う。学校のクーラー設置もそうである。財源はいくらでもある。町長はもう少しやる気を出していただきたい。トップセールスを本当に熱心に行っているか。

町長 本当に真面目に行っている。

西園 仕事は数字である。数字が上がるよう努力していただきたい。

次年度の目標額はいくらか。

町長 3億7000万円である。返礼品事業者の中には、対応できる返礼品の数量、種類に限界がある事業者が多く、寄附金の増大に事業者の対応が追いつかないことも考慮しなければならないと考えている。

西園 次年度の目標も下がった。目標を下げたらやる気もでない。目標は常に前向きに上げて、それを達成する努力が必要である。町長も一生懸命それを考え、実行させる町長としての姿勢を職員に教えてほしい。



第5次定住用地、町民も対象にできないか



A 現時点では考えていない



宮地 利雄 議員

宮地 定住促進住宅の第5次募集への応募状況は、現在46区画のうち、11区画ということだが、これまでは、ほぼ1年以内に、全部埋まってきたのではないかと思う。今回は推進がおくれているような感じがする。

以前、取り上げてきたが、例えば付随した公共施設をあるの中につくるとか、工夫と戦略が必要なのではないか。ただ、応募を待っているだけでは行政としての機能がないのではないか。私に寄せられた声として、一定の割合を例えば46区画のうちの10とか、20区画とか、町内居住者にも最初から門を開いたらどうか、という声についての見解を求めたい。

町長 この定住貸付事業は、

そもそも他市町村からの移住を目的とし、人口減少に歯止めをかけるための政策である。募集を開始してまだ1年であるから、もう少し長いスパンで取り組むべきではないかと考えている。

現時点においては、町内居住者を対象とすることは考えていない。

Q 就学援助入学資金、4月に間に合うか

A 中学校入学者は2月に支給したが、小学校入学者は難しい

宮地 就学援助入学資金であるが、再三、教育長に要請してきた。最近では文科省も入学に間に合うように就学援助の入学資金を支給すべきだという方向の指導がなされている。

入学時には、かばんや制服靴から部活動の準備まで多額の費用がかかると聞いている。以前は教育委員会でも議論を重ねているという答弁だったが、今、3月である。4月の



クーラー設置を各教室にもしてほしい

Q 学校へのクーラー設置、国の補助金の見通しは

A 昨年11月に申請し、現在決定内示を待っている

宮地 各学校のクラスへのクーラー設置であるが、現在、国庫補助の申請中だと聞いている。大崎町は大規模改造とあわせて、クーラーの設置がクラスまで進んでいる。本町が申請している補助金の見通しはどうか。

教育長 昨年11月に国のほうに要望をして、現在、国からの決定内示を待っている状況である。国においては、耐震化、学校統合、老朽化対策とか、いろんな緊急性の高いものから優先的に採択していくと思われる。今年の4月に内示があれば、補正予算を組んで議会の承認を得てから、設計委託業務に着手し、国の決定通知後に工事着手となる。

しかし、4月に内示がなければ、11月以降の内示を待つか、あるいはまた平成31年度での内示を待つことになると思われる。

入学時に活用できるように、支給日が変更されてきているのか。

教育長 中学校に入学する現小学6年生の児童については、就学援助対象者に、本年度から2月に該当する就学援助金の支給を行っている。

ただ、小学校に入学する子供には、いろんな事情等を完全に把握できていないため、現時点では支給はまだ難しいと考えている。



農業生産対策で町単独の支援とは



天敵導入・機械導入補助などを計画



牧原 完治 議員

牧原

平成30年度町長の施政方針における、農業生産対策で町単独の支援は何か。

また、それはどのような効果が期待できるのか。

町長

町単独支援の充実ということで、事業費の大きなものには、補助率の高い国・県などの補助事業を有効に使っていただきたいと考えている。

そのほかの事業費の小さい事業は、認定農業者、認定新規就農者を対象に、東申良町農業生産対策事業を新たな事業として計画している。

施設園芸部門では新たな天敵導入への補助として、リモニカスカブリダニ導入の補助を計画している。

また、耕種農家、畜産農家を対象に機械導入等の補助を

計画している。

リモニカスカブリダニ導入の補助期間は一応3年間としている。従来のスワルスキーカブリダニからすると捕食力も大きいということで、試験導入された農家の方々や県の普及員の方から非常に効果が大きいと聞いている。特に比較的低温で活動力があるということから、キュウリ栽培では更に有効ではないかと思っている。3年間で、リモニカスカブリダニの導入が進むことで総合的病害管理が推進され、更なる安全安心の取り組みで鹿児島ブランドのピーマン、キュウリの高値安定な売り上げにつながればと期待している。

また、耕種農家、畜産農家への農業機械等の導入補助により、認定農業者、認定新規就農者が東申良を支える中心経営体として規模拡大や新たな取り組みへの一助となると考えている。



天敵導入で安心安全に取り組む(ピーマン)

Q ふるさと納税の増額で、ゆとりある財政を考えないか

A 取り組みは行っているが、寄付額が上がらない

牧原

ふるさと納税について平成30年度は3億7000万円の予算計上となっているが、大幅な増額でゆとりのある財政は考えていないのか。

町長

ふるさと納税の増額への取り組みは、これまでいろいろと行ってきた。

平成29年度当初もふるさと納税サイト3社でスタートしたが、なかなかであった。このことから、さらにその上に2社を追加するよう計画し、ANAとかいろんな方向にもお願いしている。

しかしながら、思うように寄付額が上がってこないというのが現状である。

牧原 県内では大崎町、志布志市が20億円以上集めている。

また、宮崎県の都農町は50億円集め、70億円を目標としている。この都農町は本町より少し大きな町である。

町長のトップセールスだけでは限界があると思う。

そこで提案であるが、町長部局に係長クラスを集めふるさと納税プロジェクトチームを編成したらどうか。

平成30年度の一般会計当初予算は約46億円で、この内自主財源は4割しかない。ふるさと納税をもっと集め、ゆとりのある財政に努めて欲しい。



議長 田之畑 稔

行政相談委員として尽力され、
今後の活躍を期待します

住民の相談相手として務め、
行政の民主的な運営に寄与します



東申良町行政相談委員
津之地 博文さん

町民に
インタビュー
Vol.19

このコーナーは、皆様の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

議長 今回は、行政相談委員として業務に尽力されている津之地博文さんに話を伺います。

議長 行政相談委員の制度と役割について伺います。

津之地 行政相談委員は、行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱されます。その業務は、住民の相談相手として、行政サービスに関する苦情・行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなど、行政などへの苦情や意見・要望を受け、その解決や実現を推進するとともに行政の制度や運営の改善により、行政の民主的な運営に寄与することです。

議長 行政相談委員の法的
位置付けについて伺います。

津之地 行政相談委員は、行

政相談委員法で民間人の位置付けであり、報酬を受けないことになっています。

但し、業務遂行のため要する費用の支給を受けることはできます。

任期は二年以内となっております。全国で五千人が委嘱を受けて業務を担っています。

議長 わが町における住民からの行政相談の実態について伺います。

津之地 町の行政相談は、毎月第三週の水曜日に行います。奇数月は、柏原地区の農村環境改善センターで、偶数月は、豊栄地区の総合センターで行っています。

住民からの相談は、道路補修やカーブミラーの設置・樹木の道路へのかぶりなどの交通安全対策や生活環境問題が主なものです。総合センターと農村環境改善センターの天

井の雨漏りや豊栄保育園近くの側溝の危険箇所についても町に改善を要請しました。
また、塩入川や柏原漁港周辺の廃船放置については、県に苦情として挙げています。

議長 行政相談委員として、行政や住民に対するご意見があれば伺います。

津之地 行政相談委員が指摘した軽微な事案に対しては、行政の動きが早く問題の解決が図られています。

また、最近では、議会の町内巡回活動により、危険箇所などが指摘されていることから、住民からの苦情や相談が少なくなっています。

住民の皆さんには、行政相談委員の制度をご理解の上、国・県・町などに対する行政に関する苦情や意見・要望など国民の権利として活用して頂きたいと思えます。行政相談委員は、住民の相談相手として業務を行います。

議長 行政相談委員の業務は、住民の意見を吸収して行政に反映する議会の役割と共通するものがあります。

津之地行政相談委員の今後のご活躍を期待します。

所管事務調査報告

各委員会が1月に実施した先進地調査や視察の報告です。

【調査地】

教育産業常任委員会：鹿児島県日置市
「江口蓬莱館」



新鮮安い美味いで大繁盛

1 調査日

平成30年1月31日（水）

2 調査の概要

江口蓬莱館は、平成14年度漁村コミュニティ基盤整備事業及び種子島周辺漁業対策事業を活用し、公設民営型の物産館として、旧東市来町が築造した。平成15年4月にオープンし、その運営は、指定管理者として江口漁業協同組合が行っている。施設は、物産館に水産加工施設とレストランが併設されている。

施設の概要

敷地面積 8662㎡
建物面積 1282㎡

従業員 75人（漁協職員5人、パート70人）

出荷者 約350人

来店者 1日平均1300人

・平成28年は43万9千人

（鹿児島市、薩摩川内市等から70%を占めている）

売上高 1日平均300万円

・売上割合は魚介類48%、野菜34%、レストラン18%

・年間売上は平成25年から10億円超を維持している

事業運営の方針等

▼物産館は、江口浜に水揚げされた魚介類や地元で生産された農産物及びその加工品を展示・販売している。

▼レストランでは、江口漁港で朝一番に水揚げされた新鮮な魚介類を味わえる。

▼水産加工施設では、東シナ海で捕れた海産物（アジ、サバ、エソ、ちりめん等）を加工している。

▼野菜や鮮魚は入荷当日の分を販売して、売れ残りはレス

トランや加工場で2次製品として利用している。

▼鹿児島市のレストラン等へ、魚の卸売りなどをしている。

▼ふるさと納税の返礼品の取り扱いを行っている。

▼午後には野菜が品薄状態となるため、鹿児島市内からの仕入れや、近くの高齢者集落から野菜収集をしている。

▼市内にある7つの物産館とも連携し、お互いの情報を流す情報コーナーをレストランの一角に設けている。

▼市に対して、指定管理者が毎年利用料を収めている。（平成28年度は270万円程）

事業運営上の課題等

▼オープンから14年経過し、施設の老朽化が進んでいる。

▼従業員の人手不足が生じている（特に魚の調理師）。

▼土・日曜日は来店者が多く、駐車場が不足しているため、駐車場の増設を計画中である。

▼運営にマンネリ化がみられる。集客力を維持するため各種イベントを開催している。

▼過疎化や高齢化により漁業者や農業者が減り、蓬莱館への出荷者数が減少している。

▼蓬莱館の運営は、非公営型

で指定管理者として江口漁業協同組合に任せてあるが、平成31年度からは公募とするか、これまでどおりとするかは未定である。

蓬莱館の背後にある江口浜海浜公園

江口浜海浜公園は鹿児島県が整備した。管理は日置市が行っているが、管理費等に係る県の補助金等はない。夏場は県内外から多くの海水浴客で賑わい、蓬莱館での食事や買い物へとつながっている。



▲美味しい魚介類を味わえるレストラン



▲「蓬莱館」隣接の江口浜海浜公園

3 意見

● 噂には聞いていたが、平日の午前中にも関わらず物産館は来店者でいっぱいであった。レストランも12時には140席の座席は満杯で、そのほとんどの客が寿司か海鮮ものを注文していた。

● 蓬菜館のように、生鮮野菜や魚介類の直売、水産加工場レストランを併設した物産館は非常に魅力的である。

● 地元雇用に貢献している。

● 物産館は市や町から委託している者へ管理委託料を支払っている事例が全国的にも多いが、蓬菜館は逆に市へ施設利用料を納めている。このことは、江口漁業協同組合が単独で行っていた直売所での事業運営のノウハウが十分に生かされていることであり、経営手腕の高さがうかがえた。

● 蓬菜館の出荷者ではない集落の高齢者が趣味で作る野菜を、職員が収集し販売している点は、本町の物産館もすぐにも参考に行けるアイデアだと思ふ。

● 本町の物産館で毎月漁協が実施する「ぶえん祭り」には大勢の来客があり、午前中にはほとんど無くなるという状

況である。鹿屋市で根占漁協が運営している「さかな館」の盛況ぶりを見ると、本町の物産館も漁協と連携した鮮魚販売や、海産物を提供するレストランなどの構想を検討する時期にきていると思ふ。

● 蓬菜館には海があり漁協もあり、本町の柏原との類似点も多い。本町でも、町と漁協が連携し、食堂や水産物加工所、町内でとれる水産物・野菜等の販売をできる施設を新設し、併せて海岸を利用したキャンプ場やバンガローを柏原に整備すべきと思ふ。

● 蓬菜館の建設は、様々な資金を有効に利用している。当議会でも制度や資金の活用を討議し、町当局へ積極的に政策提言すべきである。

● 蓬菜館は、海水浴場とのセッ



▲人気商品を生み出す水産加工施設

トで相乗効果を高めている。海の見えるペランダを併設し、安全な海辺整備等、プラスアルファ構想にも余念がない。

例えば、本町の相撲場周辺の整備案として、老朽化した町営プールの立て直しに度肝を抜くスライダーマシンを築造し、柏原と肝付町漁協の地域連携を強化し、エンターテインメントの地として名を馳せることができないうか。

● 集客力を維持させるためイベントの開催や、薩摩川内市にある水士里サークルで有名な高山地区の野菜を置いたり、熊本県内の物産館と物品交換の販売をしたり、ひいては東日本大震災地との交流を図ったりと、斬新なアイデアの発掘にも多大なエネルギーを費やしていた。このように主導できる人材の発掘・登用も喫緊の課題である。

● 町の活性化は国・県事業の活用、また大胆な発想ではないかと感じた。本町にとって足りないものは、この大胆な発想ではないか。町民を巻き込んだプロジェクトチームを作り、知恵を出し合い、新たな発想をもって踏み出すべきであると思ふ。

議員派遣報告

地域課題に若者の参画を

◆研修日

平成30年2月6日

◆研修場所

早稲田大学（東京）

自然エネルギー、省エネルギーの基礎知識

各地方公共団体の予算額に占める電気などの光熱費は平均5%に上る。東申良は年間予算を45億円と定め計算するとおおよそ2億2500万円である。この金額を省エネで切詰め、自然エネルギーを創出して売電などで新たなエネルギー体系を確立することは地方の自立につながるという旨の研修である。この事業に取り組む全国の事例を紹介し、肝付町も電力会社を立ち上げるなど先駆的である。

地方創生における大学の上手な使い方

いわゆる産学連携である。昨今、各大学はその存在意義を高めるべく地方公共団体と連携して地方創生に積極的に取り組む始めており、テレビ等のマスメディアでその事例が頻りに紹介されるようになった。肝付町は鹿児島大学



報告者 瀬戸山 譲 一

と提携書を交わし、電力会社立ち上げには九州大学と連携している。地方創生に高校、大学の若い活力を取り入れ活性に一役を担ってもらおうというものである。

政策提言

この研修を受けたという動機は水田のパイプラインの事情からである。あの滔々と流れる大型水路に水車型発電機を設置し、発電した電気でパイプラインのモーターをまわしてみたらどうかと素人ながらに考えたのは次の2点である。

①【コスト削減】自家発電することで水利費を安く抑えられないか。厳しい稲作経営のコスト低減に貢献できないか。水利費に占める電気代は大きい。

②【危機管理】今のパイプラインには自家発電はない。停電時は全くのお手上げ状態である。三面水路の自然流水を使えばそのポテンシャルは無限大である。余剰電力は売電もできるし、非常時の緊急電源としても使える。



中学2年 中野 優杏さん ゆあん

「馬」うま
この三本とかたしている部分がかたてがみに見えるので横に線を
付けました。しっぽの部分は本物らしくおどろかぬい、ほんでもう
本にしてきました。背景は馬が野原を走っている感じをイメージしてかきました。



中学2年 酒井 楓さん かえで

「星」
背景は、夜空の青と月の黄色にしました。ぼくは、星というイメージは、
夜の中で、ちゅーとした感動がもたらえるものかと思いましたが、星を
石のようになってきたロケット、流星、彗星、月、夜空を描きました。



中学2年 別府 和さん のどか

「糸」
私は背景をカラフルな布をイメージして描きました。
布と布のぬい目では糸と同じ色を使い、布同士をぬ
い合わせているイメージで描いています。



中学2年 市村 真里奈さん まりな

「本」
私が「本」という字のイメージしたのは赤ちゃんと、大きく育てほしい
というイメージで「本」という字にしました。
この背景の色はお日さまの光をイメージした黄色にしました。
ふたつの黄色よりおちろと明るくした所がポイントです。

おたよりの コーナー

中学生の作品です。
漢字から発想された
ユーモアな感性がうまく
表現されています。
★★★



議会だよりに投稿しませんか

- 例えば
1. この町に住んで感じること (200字程度)
 2. 議会を傍聴して (感想等)
 3. 将来の夢 (200字程度)
 4. 東串良町の未来図 (図画)
 5. 自慢のワンショット写真
 6. イラスト …… など

【応募方法】
東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募して
ください。(持参可)
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。
住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名
希望者はペンネーム

【応募先】
〒893-1693 東串良町川西1543番地
東串良町議会事務局
メールアドレス: gikai@higashikushira.com

【しめきり】 平成30年7月13日必着
【注 意】 作品の返品はいたしません。

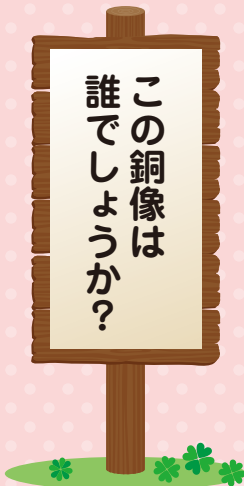




1



2



ク

イ

ズ

【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
 - ・①と②の答え（フルネームで教えてください）
 - ・住所、氏名、年齢、電話番号
 - ・議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など（ひとことでもいいです。）
- 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
- しめきりは、平成30年6月10日です。（当日消印有効）
- あて先
〒893-1693 東串良町川西1543 東串良町議会事務局

議会だよりの
136号の答え

①大間瀬橋

応募総数1通、正解者1人。
正解者に図書カードを進呈しました。

ふるって
ご応募ください

議会を傍聴してみませんか😊

町政を知る良い機会ですのでぜひお越しください



～手続きは
簡単です～

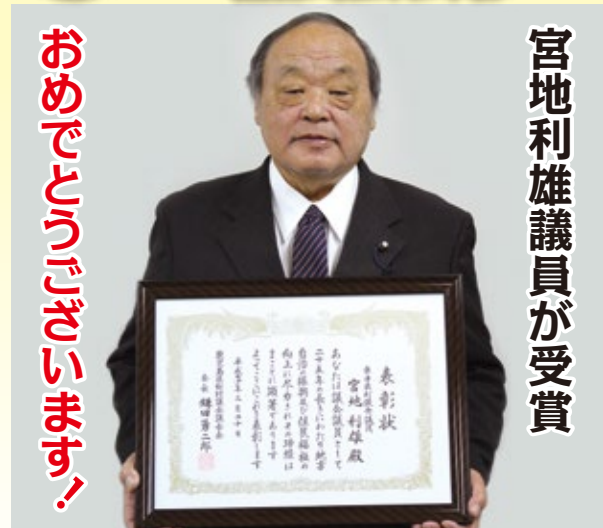
本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・年齢を記入していただくだけです。

6月議会は
13日からの
開会予定です

※本会議については防災無線でお知らせします。

祝

鹿児島県町村議会
議長会表彰



おめでとうございます！

宮地利雄議員が受賞

町村議会議員として25年以上在職した者として、受賞の栄に輝きました。

輪和話のひろば

vol.19

このコーナーは、町内のあちらこちらから「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いします。



東串良町相撲連盟の皆さん

柏原大相撲の伝統を守る 「東串良町相撲連盟」

今回は、「東串良町相撲連盟」を紹介します。

柏原大相撲の歴史は古く、三百年とも言われています。この大切な伝統文化を、中村義信会長を中心とした仲間が、豊漁と安全を願い毎年の開催を目指しています。寄附金集め、のぼり旗や立て看板等の設置など、準備に汗を流している姿に感



屋根が設置された柏原の土俵

動します。

今年は、柏原の松林に設置されている土俵に、屋根が取り付けられ、その完成を兼ねて柏原大相撲のこけら落としをとという計画が町から提案されました。

中村会長の呼びかけで、十数名の相撲連盟同志が集まり、招待力士を誰にするか等の活発な意見が出されました。最終的には、本町に近い志布志市出身の千代丸関、千代鳳関兄弟に決定しました。

中村会長は、「どうしても伝統の行事を残したい、絶やしてはいけない」と言われ、同志の皆さんも賛同されています。

ひとこと

私も東串良町相撲連盟に携わる一員として、中村会長を中心とした同志達と一緒に歴史と伝統のある柏原大相撲を守っていきたいと思います。

取材者 児玉 勇治

編集後記

今年のルーピン祭りは、無事盛大に終わりました。しかし、町花ルーピンの開花は残念な結果でした。当局の説明では気温の低さが原因ではないか、ということでした。それにしても町花というのは本町のシンボルであり、もっと慎重な取り組みが望まれます。

さて、本町議会の一般質問には、毎回約半数以上の議員が質問に立ちます。この割合は他の議会よりも多い方だと思います。一般質問の準備では、どういう質問をすれば当局を議員の主張に賛同させら

▼広報編集委員会

- 編集委員長 宮地 利雄
- 編集副委員長 児玉 勇治
- 編集委員 瀬戸山 譲一
- 牧原 完治
- 前田 隆
- 原田 猛

れるかに最大のポイントが置かれます。それを本誌に載せる原稿では、自分と当局のやりとりをどう書けば、読者（町民の皆さん）に理解してもらえるかがポイントになります。本誌を通じて町政と町議会に関心を高めていただきますようにお願いします。

宮地 利雄

表紙の案内 ～坪山水産～



表紙の写真は、国道448号線に隣接する店舗で水産業を営んでいるご夫婦です。坪山水産では、新鮮な魚介類と魚のすり身が原料のてんぷら（つけあげ）が人気商品で、おかずやお土産にも喜ばれます。